

高校生ものづくり コンテスト県大会 in 大村工業 & 長崎高技専

六月十八日に大村工業にて行われたものづくり長崎県大会。今年も長工からは六部門へ出場。新聞部ももちろん参加してきました。取材の様子をお伝えします！

旋盤作業部門

長工から出場したのはM3石川雄介君とP3高比良涼君。会場は後ろからしか見学することが出来なかったため、取材は困難を極めた。取材は大会前、「今持つ力を全部使って最高のものを作る」(高比良君)、「終了後に余裕だったと言いたい」(石川君)と話していた二人。



数ミリの誤差も許されません。数ミリの誤差も許されぬ旋盤作業では暑い中でも集中し黙々と作業を

木材加工部門

長工から出場したのはA3の田中君、吉谷さんの二名。事前取材では、「緊張はあるけど問題ない」(田中君)、「緊張で失敗しないか不安」(吉谷さん)担当の西平先生は練習通りにすれば大丈夫、とのこと。



▼大胆ながらも慎重に…
秀という堂々の成績に輝き、見事に九州大会出場。西平先生曰くどの学校もレベルが上がっていった大接戦だった模様です。皆さん、本当にお疲れ様でした。

電子回路部門

▼三冠
静まりかえった教室で

淡々と競技をこなす選手達。そんな緊張感の漂う中、長工から出場したJ3の永門君、大友君、D3の中島君、堀江君を発見。真剣な眼差しで競技に挑む選手達。課題のプログラムと回路の組立の様子を先生方も静かに見守っていました。

《優勝したA3吉谷さん》(最優秀賞に対して)「びっくりにしている、想像してなかつた。今回勝ったので九州大会も勝つたこと。」

《久保先生の談話》「例年通り緊張感があり静かだった。ただ選手が車酔いして不安だった。」
《優勝したJ3永門君》「車酔いでお腹の調子が悪かったが、九十五割の力が出すことができた。」
《J3大友君の談話》「自分はベストを尽くせたから良かった。」
《D3中島君の談話》「回路の組立は出来たが、結果はC3谷川さんが

化学分析部門

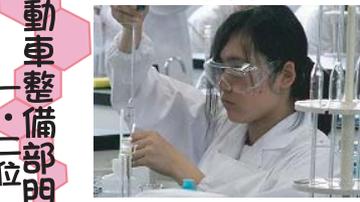


▲高度なプログラミングを披露

物凄く緊張感の中で行われた化学分析部門。私達に到着したときには既に始まっていたのは、長工から出場したのは、C3谷川さん、C2中島さん、C2新田君の計三名。競技中の表情は真剣そのものでした。最後のレポート作成では、緊張や焦りもあつてか制限時間ギリギリに提出した生徒もちらほら。結果はC3谷川さんが

プログラミンが出来なかつた。《D3堀江君の談話》「言うこと皆無、思ったことが出来なかつた。」

自動車整備部門



自動車整備部門は長崎県立長崎高等技術専門学校で行われました。緊張した雰囲気の中で車を整備し始めるP2の岩下君とM2の光嶋君が出場。担当の岡本先生は「調子はまだまだ」と話されていた。この日はあいにくの雨で、選手たちは湿度が高くない「液晶」です。しかし、液晶と言ってもたたくと壊れる。液晶と言ってもたたくと壊れる。液晶と言ってもたたくと壊れる。

最優秀賞、C2中田さんが優良賞でした。結果発表後は緊張が解けたのか皆さん自然と笑顔になっていました。表彰式終了後に話を聞くと、「去年のリベンジが果たせて良かった。九州大会はレベルが高かったです」(谷川さん)、「驚いたけど嬉しいこの経験をこれから活かしたい。」(中田さん)とお疲れ様でした。



▼高校生とは思えない技

電気工事部門

電気工事部門にはE2の富口君と木下君が出場しました。大会前に意気込みを聞く「まだまだ満足してないのが不安」(木下君)、「本番さちん

命頑張っていました。終了後に二人にインタビューすると両者ともに「手応えはない、一位はありえない」と厳しい評価を下していました。結果は光嶋君が最優秀賞を獲得し九州大会出場。岩下君も優秀賞を獲得しました。

数えてみよう

今回は初級編

合計：四百七十七個

コタロー

～はじめてのふくしま～
驚きの連続！



田舎者丸出し！(本人談)
福島総文祭に関するは近日公開！！

祝 最優秀四部門

電子回路・自動車整備
木材加工・化学分析



▲電子回路部門で3冠



作品と共に記念撮影

後記 今回は前回の発行から期間が短く、多彩な行事が盛り込まれていて、夏休みを満喫して、インテンシブに、資格補習、進学補習は、総文祭参加学校に早くから夜遅くまで、誰か休みをください。お届けたく、頑張りま